

1年生学年だより



豊中市立第五中学校 2015年6月5日(金) No.11

～校外学習の振り返りをしました～

校外学習も無事に終わり、普段学校でしか知らない「学年やクラスや班の仲間たち」の新しい一面を見つけることはできましたか？

今回は、校外学習の準備の段階から今までの自分と班の行動を思い出し、振り返りをしました。それぞれが、よりよい校外学習にするために何ができたか、できなかったのか、振り返ることで課題が見えてきます。校外学習を、ただ「楽しかった」で終わらせないで、これからの学校生活に生かせるようにしていきましょう。

今回の振り返りから、各クラスの作文を紹介したいと思います。

【1組】

○ 関所ハイクでは、班長だけが考えるのではなくて、皆で地図を見て探したので、交流が深まったと思いました。

学年レクでは、勝敗ばかりにこだわるのではなく、皆が楽しんで、できていたので、クラスだけじゃなく、一年生全体が団結したと思いました。

でも、もう少し公共の場での態度を改めたほうが、もっと良くなると思いました。

中学校生活初めての行事はすごく楽しかったです。

○ 校外学習を通して、先に行ったりしてしまう人がいたので、皆で協力して気づかい、一人一人を思いやることが大切だと思った。また、それができていない人には声かけをしたりするのも重要なことだと思う。

電車のマナーやルールを守ることが、少しできなかったけど、明るくて楽しい校外学習だったと思う。これからは、楽しむだけでなく、マナーも守れて、やっぱりメリハリのつく学年にしたいな、と思った。

○ 人に迷惑をかけないこと、電車でいろんな人がいるのに、自己中に大きな声を出したり、むだに歩きまわったりしないことが大切だと思う。

だれかが、「こんなんしない。なんでこんなしょうもないのしなあかんの？」などということがなかったのが良かった。もしそんな事を言われたらやる気をなくすので、言われなくて良かったと思う。

○ 少しうるさい時もあったけど、注意し合えた。学年レクの時は、自分のチームを応援したり、大縄では、皆が「1回は跳ぼう」という気持ちで協力した。

班行動は、ちゃんとできたし、約束やルールは、ちゃんと皆守れていたと思う。

静かに話を聞く時に、少ししゃべった事もあったので、来年はみんなが静かに聞けるようになりたい。

関所ハイクで最初の場所に戻ったときに、皆がぜんぜんいなかったの、時間をもう少し守った方がいいと思う。それでも「学年の目標」を達成できたと思う。

【2組】

○ 二列で移動する時に三列になったりしたので、これから団体行動するときは気をつけたいです。クラスの班の絆も深まったと思うし、学年でも深まったと思います。話したことのない人ともしゃべれたし、良かったです。

○ 人の話をよく聞いて、話をしている相手を見ることが、班でまとまった行動をすることが大切だと思いました。

あと、電車の中でも他の人も乗っているために、もっと静かに乗っていることと、席のゆすり合いもしないといけないなと思いました。

「関所ハイク」・「学年レク」では、チーム皆が協力してできたと思います。

○ 班の関所ハイクでは、何度も同じところに行ったり、女子と男子の間があいてしまったりしていたけど、学年レクや昼食後は、皆が仲良く遊んでいた。

電車などでは、少し騒がしくなっていたので、今度からは気をつけようと思った。

校内ではあまり話していなかった人ともたくさん話ができて楽しかった。

- 行き帰りの電車で、騒いで他の人に迷惑になったり、お年寄りの人がいるのに、席をゆずらずくつろいでいる人がたくさんいた。公園ではルールも守れていたけど、関所ハイクなどで、ゲームに失敗して、人のせいにして悪い空気になったりした。さらに、「疲れた」とか言って、あまり動かず、積極的に参加していない人がいた。

ルールは守ってできたけど、遊びを全員が楽しめなかったのが残念だった。

【3組】

- 初めて学年全体で動くと、すごく楽しかったです。でも、盛り上がりすぎて、さわいでしまいました。きちんと整列して歩くことも大事なかなと思います。私は、学年として、すごく団結力が深まったと思います。

班での関所ハイクは盛り上がりました。お互いの特技を生かして、どんどん進んでいきました。展望台に登ったり、森の中に入ったり、すごく楽しくて暑さに負けないぐらい面白かったです。教室とは違う一面も見られ、団結することができたと思います。

3組はいつもやる気があって明るいクラスだと思います。

- 関所ハイクの時などは、先生がどこにいるか確認してくれたりしたけど、万博まで行く時に男子の一人がふざけていたことが、班の課題でした。

学年レクの時に（特に大縄の時に）ふざけている人がいて、少しは注意していたけど、おもしろいことをしたら、皆と一緒に笑ってしまった。楽しい時と、しっかりやる時のメリハリが少しつかなかった事が自分の課題だし、メリハリをつけることは、クラスの課題だと思う。でも、楽しんでいい時はおもいきり楽しんでいるところはクラスの良いところだと思う。

- 集団で行動するとなると、列がくずれたり、しゃべりだしたりと、周りの人の事を考えた行動ができていなかった。

全体的に、皆で協力し、何事にもチャレンジしていったと思う。班での行動（関所ハイクなど）では、疲れていたりした時でも笑いがあったのは良かったと思う。

メリハリがないところはあるかもしれないけど、この64期生は皆とてもいい仲間だと思う。これからも、仲間の良い所をどんどん探していきたい。とてもいい校外学習だった。

【4組】

○ 班行動はとてもうまくいった。関所ハイクも、とてもよく協力できたし、楽しかった。けれど、班の中で分かれたり、けんかをしたというのを、4組ではないが聞いたので、自分の自己主張も大事だが、お互いの気持ちを考えるという点では、もう少し抑えた方が良かったと思った。班ではうまくいったが、学年レクの大縄では、大人数なので、まとまりが悪く、一人がふざけてしまうと、皆がそれに乗かっていってしまうところがあった。けど、注意をし合っていたので、その面では良かったと思う。学校の外へ出ると、少しマナーがなくなっていかなかったりして、あまりマナー面ではよくなかった。でも、笛が鳴ると、すぐに並べたのは良かった。

○ 学年の課題は、けじめをつけることです。並んでいる時も、おしゃべりをしていることがありました。また、「やる時はやる」ということができなかつたと思います。

良かった点は、みんなが笑っていたことです。学年レクの時みんな笑っていました。笑うと楽しくなります。

大縄跳びの時、ちゃんとやりたい人がいるのにふざけている人がいたので、「ちゃんとやってほしいな」と思いました。

校外学習では、あまり話したことがない人と話せたので、良かったと思います。

○課題は、「心をひとつに！！」だと思っています。移動している時は、どうみてもばらばらに動いていて、大縄の時も、1回以上まわすことが出来ず、跳べませんでした。

やはりクラス全員がまとまるというのは、1人1人の心がけと、努力が必要で、それがみんなできた時に初めて「心がひとつになった」と言えると思います。なので、みんながもっとそう言う所を気をつけてやっていけば、きっと一つになれると思います。

関所ハイクの時、班でちゃんと考えて行動することが出来たし、まわりの班が、先生を見つけたら、「そこにいるよ」って声をかけてくれ、スタンプをもらうこともできました。「やさしさはみんなもっているんだなあ」と改めて感じました。

次の校外学習では、みんなで心をひとつにして楽しめるよう努力したいと思います。